

第35回国際地理学会議 (IGC) 2024への参加

2024年8月25日～29日

2024年8月25日～29日に、第35回国際地理学会議 (International Geographical Congress : IGC) 2024 が開催され、当研究所からは研究員1名が参加しました。

国際地理学会議は、地理学の分野の発展に専心する国際的な非政府専門組織である国際地理学連合が4年ごとに主催します。今回の国際地理学会議は、アイルランドのダブリンにて開催され、「違いのある世界を祝う」というスローガンの下に、様々な研究発表のテーマがありました。

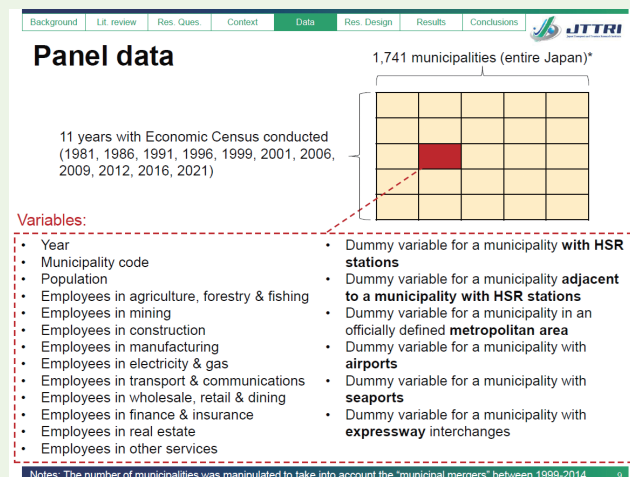
8月29日の研究セッション「交通と地理学：高速鉄道の地理」において、当研究所から応募・審査通過をした邱研究員が、「新幹線は日本の地域雇用にどのような影響を与えたか？ -計量経済学的な分析-」と題して発表しました。邱研究員の

個人研究を基に、1982年以降の新幹線の拡大が地域の産業の雇用者数にどのような影響を与えたかを研究するため、新幹線が整備されてからの年数に対する市区町村レベルで業種別の従業員数のモデルを推計して、研究成果を発表しました。続く質疑では、邱研究員が、研究方法の詳細に関する質問を回答しました。

また、鉄道沿線開発 (TOD) に関するセッション、サービスとしての移動 (MaaS) に関するセッションに、研究員が参加し、関連する最新の交通課題について情報収集を行い、世界各地域の研究者及び実務者とのネットワーキングに努めました。



発表する邱研究員



邱研究員が発表した研究方法の一部



質疑対応する邱研究員



「交通と地理学：高速鉄道の地理」セッションの議長（左：英国リバプール大学の准教授）と意見交換する邱研究員